**令和５年度　木材利用優良施設等コンクール**

応募様式

**国産材利用推進部門　応募様式**

※　本様式の記載に当たっては、欄外の「応募様式の記載に当たっての注意事項」、「その他留意事項」をよくお読みいただき、間違いのないように記載してください。

応募フォーム：<https://www.jcatu.jp/concours_r5/index.php>

＜必須記載事項＞（注１）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業者名 | | | 名称： | | | |
| 所在地・  連絡先（電話番号） | | | 〒  TEL | | | |
| 連絡先 | 担当者名・所属 | |  | | | |
| 電話・FAX・Email | | TEL | | FAX | Email |
| 分類 | 該当する項目にチェックする  □住宅関係事業者　□非住宅関係事業者　□プレカット事業者　□流通業者(製品に限る) | | | | | |
| ＜詳細説明事項＞（注２）  ・留意点及び記載例を参考に、箇条書きにて記述願います。また、提出の際は留意点及び記載例を削除してください。  ・取組の内容を具体的、且つ正確に記載ください。必要に応じて、欄内に写真やグラフを貼付してください。  ・（１）については、評価対象とするのは令和４年度です（決算日が3月末以外の場合、事業年度でも可）。参考とするために令和３年度（事業年度でも可）までの過去４年間（平成30年度～令和３年度）の利用実績（これらは評価対象外）についても記述願います。  ・各記載事項について確認できるオンラインサイト等がある場合には、ＵＲＬ等を表記願います。  ただし、審査は本応募様式を基に行うため、各欄にＵＲＬ等のみを表記するのはお控えください。 | | | | | | |
| （１）国産材の取扱量が顕著なことによる国産材利用の推進 | | ① 国産材製品の令和4年（又は令和4年度）の利用量（丸太換算） | | （留意点）  丸太換算は、木材需給表Ⅰ１（２）の丸太換算率を用いてください。  <https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kikaku/attach/pdf/220930-2.pdf>  対象期間：　　　年　月　日～　　　年　月　日   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 木材利用量総量 | | ㎥ | |  | 国産材 | ㎥ | | 輸入材 | ㎥ | |  | 国産材割合 | ％ |   （留意点）  ・利用量は出荷量を記載してください。（未使用、未販売等の在庫量は含みません。）  【利用量算出に係る計算概要】    （留意点）  ・審査の参考とするため国産材製品の種類及び使用量、割合等が分かればご記入ください。  （記載例）  JAS構造用製材：●●●●㎥（主な樹種：スギ）  　集成材及び構造用合板 国産材取扱量に占める割合　約●●％  　弊社開発の耐火構造材 ●●●㎥ | | |
| 【参考資料】  ② ①の利用量を除く令和3年（又は令和3年度）末までの4年間（平成30年～令和３年、又は平成30年度～令和３年度）における国産材製品の利用量 | | 対象期間：　　　年　月　日～　　　年　月　日   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 木材利用量総量 | | ㎥ | |  | 国産材 | ㎥ | | 輸入材 | ㎥ | |  | 国産材割合 | ％ |   【利用量算出に係る計算概要】  （留意点）  ・（１）①同様の方法で記載してください。 | | |
|  | | ③アピール事項 | | （留意点）  ・ここでは、御社による国産材利用拡大の取り組みをアピール事項に記載してください。特に国産材の利用に当たっての課題、またその課題をどのように解決したかについて、分かりやすく説明してください。  （記載例）  ※記載内容の主旨を適切に把握し審査するため、下記の通り、トピックス毎に小見出しを付け、内容を箇条書きで記載していただくようお願いします。  ■ ベイマツ梁を国産樹種の集成梁に転換  ・弊社は、木造住宅の梁にベイマツを長らく使用。ウッドショックを機に、構造計算上、問題が無い箇所にスギ、ヒノキ、カラマツ由来の集成梁の使用を検討。  ・それら樹種の集成梁の採用に当たっては、供給元の集成材企業と事前の打合せを行い、利用可能量を調整。2022年度の採用実績では〇棟（全体の○％）、○○m3を使用。  ・国産樹種の集成梁の採用後、毎年利用量を増やしており、供給元の集成材工場も複数社に拡大し、各地域の林業・木材産業の活性化に貢献。  ■耐火集成材の実用化およびサプライチェーン構築に向けた取り組み  ・弊社は中高層建築物の設計施工を得意としてきたことから、耐火集成材としての国産材の活用を検討。  ・耐火集成材の実用化（大臣認定の取得）には、所定の時間の耐火性能を証明することが求められ、それが最大の課題。課題のクリアには高度な寸法精度、材料の品質安定性、樹種による違い、接着性能の違いなど、かつて経験したことが無い課題が多々存在した。  ・そこで弊社内でプロジェクトチームを立ち上げ、各種実験を基に耐火集成材の仕様を決定。併せて、弊社内に耐火性能検証炉を弊社資金で新設。それを用いて耐火性能の検証を行い、最終的に2014年に大臣認定を取得。  ・大臣認定取得以降、耐火集成材を活用した木造耐火建築物の支持を得て2021年に累計で12棟、床面積で10,000㎡の木造耐火建築物を供給。  ・耐火集成材の大臣認定取得以降、地域の製材メーカーとの協働体制の構築を進め、2022年には全国をカバーできる協力企業のネットワークが誕生。弊社製の耐火集成材普及の推進力となっている。 | | |
| （２）計画的・持続的な国産材利用の推進 | | ①国産材利用を計画的に進めるためにどのような取組を行っているか | | （留意点）  ・ここでは、御社が「国産材利用を計画的に進めるための取り組み」について記してください。  ・（２）項目①、②について、取り組み内容が連動する場合は、項目①にまとめて記載していただいても支障ありません。  （記載例）  ・弊社では、製材品の年間生産計画に基づき木材の需要量を算定し、協力事業者と情報共有することで、安定的な量、納期、価格での調達を図っている。  ・弊社は、木材の調達先との間で、2026年まで毎年の調達量目標を取り決めており、ウッドショック等による影響を受けないような安定調達に努めている。  ・弊社は、2021年のウッドショックの反省を踏まえ、輸入材への過度な依存を改め、国産材の多地域からの分散調達にシフトした。調達先とは、年間の調達目標量を定めているが、徐々に目標量を拡大する方向で調整している。 | | |
| ② 国産材利用を持続的に進めるためにどのような取組を行っているか | | （留意点）  ・ここでは、御社が「国産材利用を持続的に進めるための取り組み」について記してください。  （記載例）  ・弊社では、関係企業と自治体で連携し、木材利用の推進協定を締結。地域材の年間利用目標量を定め、サプライチェーン一体となって木材利用に励んでいる。  ・弊社は、国産材利用を推進する協議会に加盟。国産材の継続利用に向けた積極的なネットワーク強化を図っている。 | | |
| （３）持続可能な森林経営を促す国産材利用の推進 | | ①調達する木材が持続可能な森林経営を行っている森林から産出された材であることをどのように公表・発信しているか | | （留意点）  ・ここでは、御社が“持続可能な森林経営を行っている森林から産出された木材を調達すること”に努める取り組みについて記載してください。なお、その取り組みは、一般に向けて公表・発信されたもの（例：環境報告書、株主総会資料、広告、CM、ホームページ、SNS、パンフレット、新聞記事等）とします。  ・多地域に展開されている企業については、特定の地域で実施された代表的な取り組みを記載していただいても支障ありません。  （記載例）  ・弊社では、クリーンウッド法の登録事業者からの材料調達を基本方針とし、合法性が確認された木材しか使用しないことをCSRレポート等で公表している。  ・弊社は「木材調達ガイドライン」を〇〇年に策定した。違法伐採木材を取り扱わない方針を打ち出すとともに、同ガイドラインへの理解を得られた取引先からのみ木材調達を実施している。  ・弊社は「木材調達ガイドライン」を〇〇年に策定した。その中で弊社は、森林認証を取得した森林からの原木調達を可能な限り推し進めることとした。現在、弊社が使用する木材には森林認証材も含まれている。  ・弊社の〇〇支店では、持続可能な森林経営を行うことを要件のひとつとした「〇〇県産材認証」の認証を受けた木材を積極的に使用することを方針化した。また、この取り組みは弊社の各支店にも水平展開中である。 | | |
| ② 材を調達した森林の適切な更新と持続可能な森林経営を促すため、どのような取組を行っているか | | （留意点）  ・ここでは「森林の適切な更新」と「持続可能な森林経営の促進」に資する御社の取り組みがあれば記してください。  （記載例）  ・弊社では森林資源支援基金や企業版ふるさと納税を活用し、弊社が使用する木材製品の調達エリアでの再造林や林業の人材育成が進むよう寄附を行っている。  ・弊社は、国有林との分収林契約を締結し、国有林と協力して再造林を積極的に推進するとともに、将来に向けた森林資源の確保を図った。 | | |
| （４）国産材利用を促すための普及活動の推進 | | ①どの様な（内容や媒体、頻度等）普及啓発活動を行っているのか | | （留意点）  ・ここでは、御社が取り組む「普及啓発活動」について記してください。  ・発信方法（例：環境報告書、株主総会資料、ホームページ、SNS、パンフレット、新聞記事などを使用した発信、建築現場での発信）と、発信内容について記載してください。  ・（４）項目①、②について、取り組み内容が連動する場合は、項目①にまとめて記載していただいても支障ありません。  ・「（発信媒体）を参照」と記載して、内容の記載を省略することはお控えください。  （記載例）  ・弊社は、環境経営を念頭にした事業活動を行っており、林業振興や地域創生への貢献をホームページで宣言し、具体的な取組事例を公表している。  ・弊社では、投資家などからのESG投資の要望に対応するため、ホームページに環境報告書を公表している。その中で、国産材利用の意義やSDGs達成に向けた取り組みを紹介している。  ・弊社は、国産材製品の普及を目指した総合展示会に出展し、弊社の国産材利用の取組みだけではなく、地域材の魅力や活用意義を来場者に発信した。  ・弊社では、有識者をパネリストとして招いた国産材利用推進フォーラムを開催し、国産材の利用拡大をテーマに討論の場を提供している。  ・弊社では、建築現場をひとつのPRの場と捉え、昨年着工した約〇〇棟の建築現場で仮囲いに国産材マークを印字したLVLや合板を使用し、国産材利用の促進を訴えた。  ・弊社では、地域材利用拡大の一助として、毎年弊社の各支店にて木工教室を開催している。地域交流および木育の場として多くの一般客に活用いただいている。  ・弊社は、将来を担う小中高生を対象にした植栽作業等の弊社後援イベントを通じて、持続可能な森林に興味を持ってもらい、国産材の良さを知ってもらうためのPR活動を実施した。また、木材の良さを題材とした夏休み等の自由研究などに利用してもらうための地域材の情報発信や建築廃材を工作用材料として提供するなど、教育現場への積極的なアプローチを図った。  ・弊社では、年1回、地方自治体と意見交換を行い、地域材の普及に向けた要望、提言を行っている。  ・弊社では、毎月発信している社報に国産材利用の取り組み事例を連載し、関係企業等への配布も行っている。 | | |
| ② 普及活動の効果はどのくらいか | | （留意点）  ・ここでは、発信媒体の閲覧数やイベントの来場者数等、普及活動の効果を把握している範囲で記載してください。  （記載例）  ・弊社が出展した展示会において、来場者を対象に国産材利用に関するアンケート調査を実施。延べ〇〇組の回答から、約〇〇％が国産材製品を採用したいとの前向きな結果を得た。  ・弊社では、施主や協力事業者を集め、年1回、記念植林を実施している。昨年は20組が参加し、森林資源の大切さについて理解を深めた。  ・弊社では、国産材利用推進の取り組みの紹介をホームページおよびSNSで行っており、本件への応募時までに〇〇件のページビューを得た。 | | |
| 備　　考 | | | | （留意点）  ・上記以外に参考となる情報等があればこの欄に記載してください。 | | |

|  |
| --- |
| 応募様式の記載に当たっての注意事項 |

（注１)

「必須記載事項」は全項目の記載をお願いします。記載されていない項目がある場合は、審査対象となりませんので、ご注意ください。

（注２）

本コンクールの審査では、「詳細説明事項」が重視されますので、取組の内容を具体的、且つ正確に記載をお願いします。必要に応じて、欄内に写真やグラフを貼付してください。

また、記載が難しい項目については空欄としてください。ただし、（１）は審査基準に関わる項目につき、必ず記載してください。

|  |
| --- |
| その他留意事項 |

○　記載内容について、事務局から詳細な内容の確認や追加の証拠書類等をご依頼する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

○　本応募様式は審査以外では使用しません。ただし、受賞企業については、公表時等における概要説明等に一部使用します。